

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和6年度第4回進学・教育部会 議事概要

日 時：令和6年12月23日（月）15:00～17:00

場 所：香川県庁 北館 302 会議室

出席者：別紙（部会資料「令和6年度第4回進学・教育部会出席者名簿」）のとおり

議 題 1 令和6年度事業の進捗状況及び予算執行状況について

※資料1及び資料2、3、5、6に基づき、各担当者から第3回会議後に実施した取組みやワーキンググループで検討中の取組、及び今後実施する取組みなどについて報告や説明があった。

「デジタルキャンパスガイドの効果的な活用」については、ワーキンググループで検討した結果、幅広い年齢層にアプローチできる YouTube 及びリスティング広告を2月下旬から3月下旬にかけて実施することになったとの補足説明があった。

「数理・AI・データサイエンス事業」については、授業科目の共同開発に取り組んでおり、コンテンツ作成などを行うMDA委員会（仮称）を1月に発足したため、委員の推薦をすべての大学等に依頼することとなった。また、「大学間の単位互換」との関連性については、「香川県内5大学間の学生関係連絡会」とも連携して検討しており、共同開発した授業科目を従来の単位互換の枠組みの中で履修科目として位置付けることは難しいとの報告があった。

議 題 2 令和7年度事業計画案及び予算案について

※部会幹事から本部会で計画している事業に係る予算額が大きくなっているため必要経費を見直すようにとの要請があったことを踏まえ、資料4に基づき各担当者から説明があった。必要経費の見直し等、資料内容の変更等を伴う取組については以下のとおりである。

(1) 「出前講座・体験講座等への講師派遣」

（部会幹事・徳島文理大学 中筋委員）

「香川わくわく子ども大学」については、これまで県内全小学生に配布していた参加募集のチラシを自治体広報誌やSNSを活用した広報を強化して全学級に2枚配布とするのであれば、講座の対象を中学生に広げたとしても印刷費は60,000円程度となる。また、講座に係る消耗品購入費などについては講座を開講する大学等が負担することでプラットフォームの負担額は100,000円程度にまで大幅に削減できる。実施方法や経費負担等については具体的には講座を開設する大学等と相談したい。

(2) 「県内大学等合同進学説明会開催」

（香川県 臼山委員）

ワーキンググループで検討した結果、今年度と同様に県内大学から県内就職したロールモデルとなる卒業生を加えて説明会を実施することとなった。また、費用対効果及び総合的判断から次年度は業者委託を止めることとなった。

(3) 「教員対象県内大学等合同進学説明会」

（四国学院大学 山田委員）

生徒対象の合同進学説明会やPTA総会等と同日開催することによって、教員対象の説

明会の回数を増やしていきたい。

(4)「高大連携キャリアデザイン研修」

(高松大学 土井委員)

まず様式2について、委託料を250,000円に、使用料及び賃借料を100,000円に、チラシ作成・印刷費を100,000円に訂正したい。本年度は講演、県内企業等による説明・大学・短大による説明の3部構成で実施したが、昨年度よりも参加者が激減した。この状況を踏まえ香川県高等学校PTA連合会（以下、高P連）から令和7年度は学部・学科の分野別の説明をしてほしいとの依頼があったが、県内大学・短大の説明をする場にしたいという元々の趣旨から離れてしまうことから、連携しないという選択肢も含めて説明会の実施方法等について検討が必要である。保護者への周知や「高P連だより」の記事掲載については今後も連携したい。必要経費については説明会等の実施方法等によって大幅に変更があることを知っておいてほしい。

(事務局)

サンポート高松のイベント案内を見た人から2件の問い合わせが事務局にあったことから、ニーズはあるのではないかと。

(香川県立保健医療大学 片山委員)

高P連と連携しない場合、参加者数の把握をどのようにおこなうのか。

(高松大学 土井委員)

Google フォームを活用するなどして申し込んでもらえれば参加者数の把握は可能となるが、実施形態によっては把握できないことも想定される。

(香川短期大学 勘原委員)

進路決定をするのは生徒なので、保護者だけではなく生徒と一緒に参加できる説明会がよいのではないかと。保護者等への案内は「株式会社さんぽう」など業者に依頼することもできるのではないかと。

(せとうち観光専門職短期大学 田保委員)

そもそもの目的が県内大学等を知ってもらうことであったので、高P連とWIN-WINの関係で実施するのが難しいのであれば、連携せずに進学説明会を開いてもよいのではないかと。
※協議した結果、部会での意見を踏まえて再度高P連と協議し、改めて部会にて検討することとなった。

(5)「デジタルキャンパスガイドの効果的な活用」

(香川県 臼山委員)

香川キャンパスガイドを効果的に活用するために、本年度は県内高校2年生全員にチラシを配布したが、令和7年度は高校2年生に加えて香川高専の入学対象となる中学生3年生にも配布したい。また、Web 広告を活用して県内外の高校生への情報発信強化に努めたい。予算面を考慮した優先順位をつけるのであれば、第1にチラシ作成・印刷費、第2にWeb 広告のための業者委託料としたい。

(6)「数理・データサイエンス・AI 教育事業」

(香川大学 大学教育基盤センター 高橋センター長)

必要経費については、授業コンテンツの作成に必要なソフトウェアのライセンス購入を令和7年度に限ってのみ認めていただきたい。その他、クラウド使用料が必要となる。

(部会幹事・徳島文理大学 中筋委員)

金額が大きいことから、3部会合同連絡会でも相談したい。

※令和7年度事業計画案及び予算案については、本日の意見を踏まえて、就職産業振興部会及び地域活性部会からの案も合わせ3部会合同連絡会で調整し、運営委員会や総会で審議することになる。また、産学官共創チャレンジ支援補助金事業については、県議会での議決が必要なことから正式決定は3月下旬頃となる。部会幹事から以上のことが周知された。

議 題3 その他

(1) 学校推薦型選抜における推薦書フォーマットの統一化の検討状況について

四国学院大学の山田委員からワーキンググループで検討した結果、推薦書のフォーマットについては各大学の事情を考慮して統一化に向けての検討を休止したいとの報告があった。

(2) 奨学金制度創設（提案）について

四国学院大学の山田委員から、香川県における令和5年度の自県大学進学率が17.7%であったことが周知され、県内大学等への進学率を高める一つの方策として県やプラットフォームにおいて独自の奨学金制度を創設するための検討をしてはどうかとの提案があった。幹事からは部会において令和7年度内に意見交換したいとの発言があった。

(3) 各大学等の入学志願者数の見込みについて

香川県の臼山委員から、香川県の自県大学進学率が17.7%（令和6年4月）のとの報道があったことから、現時点での各大学等の入学志願者数の状況について情報共有したいとの提案を受け、各大学等から情報提供があった。また、臼山委員からは、自県大学進学率を上げるために県としても責任をもって取り組んでいくことなどについて発言があった。

(4) その他

特になし

以上